

不祥事防止への取り組み

取手市立取手第二中学校
校長 木村 勤

教育の場において最も重視すべきことは、生徒が安心して学べる環境であること、また、保護者や地域の皆様から信頼される存在であると考えております。しかし、ひとたび不祥事が起これば、信頼関係は損なわれ、生徒にも多大な悪影響をあたえてしまいます。そこで、本校では不祥事根絶に向けた教職員の意識改革や職場風土の改善に向け、下記のように取り組んでいます。

記

1 不祥事根絶に向けた職員参加型の校内研修を定期的実施しています。

校内コンプライアンス委員会を軸に、毎月コンプライアンス研修を実施しています。不祥事は、飲酒運転、体罰・暴言、公金の不適切処理、わいせつ、セクハラ、情報漏洩等、多岐にわたります。これらの内容に対する研修を、年間を通して計画的に実施し、さらに、管理職主導だけではなく、教職員主導の研修も計画し、不祥事を自分事として捉えて研修できるようにしています。研修方法も、事例をもとにしたグループ討議等を行い、具体的な防止策を提案したり、チェックリストを活用して自己の言動を振り返ったりするなど、自分事として捉えられるようにしています。

2 不祥事関連の通知文や新聞記事等を利用し、随時、職員全体で共有しています。

県教育委員会や取手市教育委員会からの通知や本県だけでなく他県での事案なども活用し、不祥事事案や対象職員の処分内容を本校職員と共有し、自分自身の言動を振り返らせるとともに、本校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で考え話し合っています。

3 定期的な校内点検や環境整備により、不祥事の未然防止に努めています。

毎月実施している校内安全点検時や日常の管理職による校内巡視、週番の教員による校内点検等で、各教室やトイレ、更衣室に不審物が置かれていないかを確認しています。また、教室や職員室の整理整頓および職員個人のロッカーや机の整理を行い、不要物が放置されていない学校環境を整えます。違和感に気付ける環境づくりを行い、個人情報紛失や漏洩、盗撮の未然防止に取り組んでいきます。

4 風通しのよい職場環境づくりに取り組んでいます。

教職員のストレスや悩み、不安が不祥事の一因とならないように、管理職が教員評価面談や日頃の面談、日常のコミュニケーションを通して、解決法を助言したり、相談にのったりするなど、きめ細かに職員の支援をしています。また、悩みを一人で抱え込まず組織で対応できるように、風通しの良い職員室を創り、同僚性を高めるためにも、定期的に職場の問題や課題を出し合い、その改善策を全職員で検討し、実践しています。

取手第二中学校の全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組み、職員一人一人の自覚の醸成と更なる不祥事根絶への努力をして参ります。